

平成23年4月28日

三重県議会議長 三谷 哲央 様

氏 名 小林 正人



22年度政務調査費に係る収支報告について

三重県政務調査費の交付に関する条例第10条第1項（第3項）の規定により、別紙のとおり22年度政務調査費収支報告書を提出します。

22800001

平成22年度調査研究活動の実施概要報告書

議員名 小林 正人

調査研究活動の主な内容、成果等

この1年は、特に地域での諸課題に関して現地調査や意見交換等おこなってまいりました。その中で特に多い問題としては昨今の高齢化に対してどのように対応していくのか？本来は在宅といった形で生涯地域又は家庭の中で高齢者も共に生活をしていくのが理想だが、現状の核家族化の進展や景気の悪化から共働き世帯が多く、どうしても老人施設に頼らざるをえない状況にあります。しかし頼りの施設もまず数が足らず、入所の費用も高い。（ちなみに特養待機者は全国で約42万人、県でも約1万人、鈴鹿市においては一床あたり412人待ちであります）又施設運営側の法人においても介護報酬単価が安く、施設整備にも補助金が足りない状況であり（ユニット式）まったなしに大変厳しいものがあります。次に子育て教育といった問題も非常に多く、いろいろな会場や学校、保育所で意見交換等調査をおこなわせていただきました。中でも多いのがいじめや虐待といった問題で特にネグレクト（養育の放棄）といった事が件数的に多いのを感じた。又、学力や体力の低下といった問題により、教員や学校を批判するご家庭も多く、特に鈴鹿市においては外国人生徒が小学校で全体の約1割をしめており共生といった点で問題があるとよく指摘をされました。（通訳等、加配の教員の増）又保育所においてはまだまだ施設整備といった点でも問題があり、耐震関係には早急に取組まねばいけないが、市の財政状況が県の安心こども基金についてこれないという現状でもあり、基金は元々国金であり県独自の負担を求める声もよく聞きました。

又障がい者雇用の問題、施設整備の問題においても早急に対応しなければならないと思います。まず雇用の問題ですが、中小企業ベースで法定雇用率は1.8%となっているのに対し三重県は約1.54%と依然全国最下位であります。企業に啓発（雇用問題）をするのにはまず県自体が率先して取組まなくてはという声をよく聞きました。また民間に就労できてもなかなか続かないといった現状も踏まえて、小規模作業所や授産施設へのあっせんも同時に推進するべきであると考えます。又その場合既存の施設も数多く見てまいりましたが、安全性、衛生面等から早急に改修しなくてはいけない施設も多々ありますし、作業の効率性といった事を考えた場合、公からの優先発注等は民間企業が低迷している中近々の問題であると考えます。又将来を見据えて障がいをお持ちの方のみ利用できるようなグループホーム等も整備していかなければならないと思います。

次に農業ですがこちらも現地調査あるいは意見交換をさせていただき、担い手、後継者不足、耕作放棄地といった問題も多々あることを改めて認識いたしました。県の緊急雇用やふるさと雇用推進である程度はと思ってましたがやはり1次産業のそのものの魅力不足からミスマッチ等問題解決にはいたっておりません。そのような中で個人的にはこれからの農業は行政にも関わっていただき、農地を集約し例えば1町、1地区で1法人化、企業化をすることによって先に挙げた問題も多少解決の方向に進むのではと考えますし、現に地域においてはそのような声もあがっております。年間の農業生産額は県で47都道府県中28位、今後TPPの問題等考えると三重県だけではなく全国的に農業推進にもより力をいれていかなければならないと思います。

次に鈴鹿市の道路事情にも特に現地での調査で早急に対応しなければと思いました。特に以前からこの地区生命線（経済対策等）ともいわれております中勢バイパス、県道神戸長沢線、又地域の生活道路等もその本来の役割を果たす限界にきておりいろいろな意味あいからもできるだけ早く全線供用開始にしないでと実感をいたしました。又災害対策からこの手のインフラ整備は財政状況大変厳しいのはわかりますが県民のライフラインとなりえるようなものに関しては、道路にしる堤防や離岸堤、河川改修等やはり推進していくべきであると考えます。特に鈴鹿市は対岸面積が15キロと長く、そこに人口も密集しております。堤防においては伊勢湾台風後の築50年を経過しており、よく見るとクラックだらけでひよっとしたら空洞化しているかもわからない箇所も多々あります。このように地域の諸課題が山積している状態であり今後も調査していこうと思います。最後に県議会、地元諸問題を掲載したりレポートを年3回約4万部新聞折込と郵送にて発送しておりますことを報告して終わります。

22800002

集計期間 平成22年04月01日 ～ 平成23年03月31日

平成22年度 政務調査費収支報告書 (個人分)

氏名 小林正人

1 収入
政務調査費 ¥2,160,000円

2 支出 (単位: 円)

項 目	支出額	内 訳	備 考
調査研究費	¥0	旅費	¥0
		需用費	¥0
		委託料	¥0
		負担金	¥0
		その他	¥0
研修費	¥0	旅費	¥0
		負担金	¥0
		その他	¥0
会議費	¥0	旅費	¥0
		需用費	¥0
		使用料	¥0
		その他	¥0
資料作成費	¥0	需用費	¥0
		手数料	¥0
		その他	¥0
資料購入費	¥22,284	図書購入費	¥0
		その他資料購入費	¥22,284
広報費	¥1,260,497	旅費	¥0
		需用費	¥997,500
		通信運搬費	¥262,997
		その他	¥0
事務所費	¥361,204	賃借料	¥318,000
		管理運営費	¥43,204
		その他	¥0
事務費	¥131,119	需用費	¥0
		通信運搬費	¥131,119
		その他	¥0
人件費	¥402,000	人件費	¥402,000
合 計	¥2,177,104		

3 残余 ¥-17,104円

22800003

資料購入費

22800004

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 04 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

22800006

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 01 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

22800007

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

資料購入費)①

新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010 年 4 月分

領収日 4 月 28 日

領収金額	¥3,715
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010 年 6 月分

領収日 7 月 1 日

領収金額	¥3,715
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)◆



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010 年 5 月分

領収日 5 月 27 日

領収金額	¥3,715
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010 年 7 月分

領収日 7 月 20 日

領収金額	¥3,715
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



22800009

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	私用と資料としての按分		

22800010

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 28 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	私用と資料としての按分		

22800011

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 10 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

22800012

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 11 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	私用と資料としての按分				

22800013

資料購入費)②

新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010年8月分

領収日 8月21日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010年9月分

領収日 9月28日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010年10月分

領収日 10月29日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010年11月分

領収日 11月29日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



22800014

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	私用と資料としての按分		

22800015

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	私用と資料としての按分		

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800017

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目	支出科目			
	資料購入費	その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料	3715 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800018

資料購入費)②

新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2010 年 12 月分

領収日 12 月 29 日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2011 年 1 月分

領収日 1 月 27 日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2011 年 2 月分

領収日 2 月 28 日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2011 年 3 月分

領収日 3 月 9 日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



22800019

廣 報 費

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 19 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費			
使途用途	用途1	県政報告書作成、新聞折り込み			350000 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	350000	×	95%	= 332500 円
根拠					

22800021

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 20 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費		支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1	県政報告書発送代			84715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	84715	×	95%	= 80479 円
根拠					

22800022

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政報告書発送代		5040 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	5040 × 95% =	4788 円
根拠			

22800023

領 収 証

小林 正人

様 No. 14326

★ ¥ 350,000 -

但 県政リポート代

2010年 5月 19日 上記正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

200

有限会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市箕所町 264-2
サンフラワービル3号 3A
TEL: 059-378-8500 FAX: 059-378-8509



(送代)

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関 1-3-2
2010年 5月20日 15:44

[別納1]
第一種定形

880 634通 ¥50,720

小 計 ¥50,720

区内特別基(定)

865 523通 ¥33,995

小 計 ¥33,995

課税計 ¥84,715
(内消費税等 ¥4,034)
非課税計 ¥0

合計 ¥84,715
お預り金額 ¥90,000
おつり ¥5,285

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 [Redacted]
発行No. 3759 端01箱01
連絡先: 鈴鹿箕田郵便局
TEL: 059-385-0871

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関 1-3-2
2010年 8月31日 14:20

[販売]

ふ・地方自治・福井・ふ-58
80円 63枚 ¥5,040

小 計 ¥5,040

課税計 ¥0
(内消費税等 ¥0)
非課税計 ¥5,040

合計 ¥5,040
お預り金額 ¥10,000
おつり ¥4,960

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 [Redacted]
発行No. 9954 端01箱01
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL: 059-378-0801



晩春の候 皆様に於かれましては
益々ご清栄のこととお慶び申し上
げます。

さて、県政リポートも今回で第10号となり、議員の任期最後1年で後3回程作成できればという時期に入って参りました。今回は年度当初の報告として、県予算関係八事業費の鈴鹿管内分Vのご報告をさせていただきますと思います。県全体としましては、H22年度一般会計はH21年度と比較しますと当初予算6800億余りと約100億程増えておりますが、これは県債発行高が前年度よりも200億程度増えたことや他の債務負担が大きく歳入の中に入っているもので、実際は、県税特には法人二税が大幅に減少したことにより大変厳しい状況でありました。そのような中、建設事務所単位で見えますとH20年度が約29億、H21年度が約30億、H22年度は景気の更なる低迷により全体的にも減少傾向にある中、32億5千万と鈴鹿管内においては2億5千万程上積みしました。そしてこれまで県内10ある建設事務所の中、常に最下位でありましたが、第8位と2ランク順位が上がりました。このことは、関係者の皆様のご努力はもちろんのことですが、鈴鹿市選出の私を含む現職4人の県議がそれぞれの角度から得意分野

を活かし党派を超えて（一般質問、予算質疑、地元陳情、要望等）熱心におこなわせていただいたことが結果に繋がったのかなと思います。

又、直轄事業の中勢バイパスも一時は事業しわけ等の問題から当初予算化されませんでした。が、市民の皆様、署名運動や、我々県議、又市会議員の先生方との連携プレイにより昨年72億よりは少ないですが、約51億の予算を確保する事ができました。八鈴鹿工区含む、このことは今後の鈴鹿市や近隣市にとっても経済活性化の大きな役割を果たす一つになる事は間違いないです。他では、私自身、最も力を入れています。おりました事業もいくつか芽が出てまいりました。まず海岸線では離岸堤、災害対策の観点から現状7基の工事完了後、更に北側八山中、浜田地区Vへ延ばすという事業ですが今年度より3基、120m、70m、70mと事業が着手されます。次いで県道三行庄野線へ徳居町Vですが、用地関係が終わりようやく今年度から工事に着手します。更には県道鈴鹿芸濃線へ三宅町付近Vの歩道整備が安全対策の観点から約70m程始まります。その他にも神戸長沢線や国道306号線バイパス等比較的順調に進む予定であります。河川においても芥川、堀切川、田古知川等護岸整備や調査、用地保障等全て前年度を上回っております。これらのことは地元自治会の熱心な要望活動も大きく作用しております。

しかしながらまだまだ景気雇用の面、そして皆様の生活の安心安全の確保等万全でない鈴鹿市、今年一年も少しでもそういったことが早期に解決できるよう最善を尽くす所存でありますので、今後ともどうか指導宜しくお願い致します。時節がらお身体には十分ご留意下さい。

県議会議員
小林 正人

25年頃には全人口の内65歳以上の方は約400万人でした、それが平成に入ってから約1500万人、今年度H22年は約2900万人に達しました。三重県においても高齢化率<65歳以上>は20%を越え、鈴鹿市では約18.5%に達しました。又このような年齢の推移と平行して独居高齢者や高齢者夫婦のみの世帯も増え続け悲しい社会問題も昨今多発しております。このような背景から今、県では特別養護老人ホームの整備等かなり深刻な問題になっております。先般の厚労省の調べでは特養ホームの待機者数は全国で約42万人と言われており、いろいろ調べていきますと三重県は47都道府県中、入所待機率は最下位であり約14460人の待機者があります。〈待機率約25%〉ちなみに1位は徳島県で入所待機率は約5%であります。鈴鹿市はどうかといいますと、特養一床あたりの人口が約410人と多く県内各市の中でワースト3位であり、特養整備率がかなり遅れておるという現状であります。このような問題も今後切実に県や市に訴えていかなければならないと思います。

別途、調査資料を提供していただきましたので掲載させていただきます。

同じ介護保険料を支払って、なぜ希望する介護サービスが受けられないのか？
都道府県によって差があるのでしょうか？

市名	市人口 5/100人口	市名	市人口 5/100人口
長崎市	571	八景市	128
仙石市	457	津市	127
沼津市	412	長岡市	127
沼津市	384	志摩市	133
沼津市	359	鶴岡市	112
四日市市	339	香取市	106
河津市	274	鹿嶋市	100

平成22年度 鈴鹿市内の道路・河川・港湾における整備状況 (予算・進捗状況ご報告)



国補、県単事業の箇所表金額一覧を作成致しましたのでご覧下さい。

(単位：千円)

	事業名	施工箇所	全体計画		進捗状況		平成22年度 事業費	平成22年度 事業概要
			事業費	事業概要	H21当初 事業費	～H21 進捗率		
1	一般国道306号(伊船BP) 道路改築事業(国補)	鈴鹿市伊船町	1,356,000	L=1,750m W=6.5(15.0)m	90,000	75.7	10,275	用地測量、 道路設計
2	神戸長沢線 道路改築事業(国補+地方特定)	鈴鹿市三畑町～伊船町	1,800,000	L=1,100m W=13.0(25.0)m	410,000	75.1	305,500	用地補償 道路設計
3	鈴鹿環状線(磯山BP) 道路改築事業(国補+地方特定)	鈴鹿市五祝町～磯山町	1,066,000	L=1,750m W=6.5(15.0)m	130,000	73.0	157,825	道路工、 用地補償
4	四日市関線 道路改築事業(国補)	鈴鹿市山本町	600,000	L=2,000m W=6.0(7.5)m	10,000	5.0	10,275	用地測量、 道路設計、 用地買収
5	亀山鈴鹿線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市道伯町～野町西	2,000,000	L=900m W=8.0(16.0)m	5,000	0.5	5,000	用地測量
6	四日市鈴鹿線(鈴鹿橋) 道路改築事業(国補)	鈴鹿市高岡町～一宮町	5,840,000	L=920m W=6.5(16.0)m	750,000	45.4	719,250	橋梁下部工、 旧橋撤去、 橋梁上部工、 道路工等
7	三畑四日市線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市西庄内町	100,000	L=300m W=6.0(7.5)m	0	15.0	5,000	用地測量
8	三行庄野線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市徳居町	484,000	L=1,396m W=6.0(9.75)m	30,000	59.6	30,000	道路工
9	神戸長沢線(定五郎橋) 橋梁耐震対策事業(地方特定)	鈴鹿市上野町～甲斐町	100,000	L=312m W=6.0(8.8)m	65,000	72.0	70,000	下部工(耐震工事)
10	野町国府線 街路事業(地方特定)	鈴鹿市道伯町～野町	2,000,000	L=900m W=8.0(16.0)m	10,000	1.8	10,000	用地測量
11	鈴鹿港線 交通安全事業(地方特定)	鈴鹿市一ノ宮町	50,000	L=100m W=2.5m	4,000	8.0	25,000	用地測量
12	鈴鹿芸濃線 交通安全事業(国補)	鈴鹿市三宅町	19,000	L=70m W=2.0m	5,000	26.3	10,267	歩道工 L=70m
13	西庄内高塚線 交通安全事業(国補)	鈴鹿市西庄内町	250,000	L=700m W=2.0m	55,000	55.0	56,472	歩道工 L=300m
14	芥川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市庄野町～加佐登町	4,940,200	L=1,800m	40,000	56.5	82,000	設計業務、護岸工
15	堀切川 河川改修事業(国補)	鈴鹿市白子	9,450,000	L=1,500m	100,000	71.7	123,000	建物調査、用地補償
16	田古知川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市岸岡町	170,000	L=310m	10,000	74.5	20,000	護岸工
17	白子港 港湾整備事業 (国補)	鈴鹿市白子	555,000	防波堤L=285m 浚渫工V=1万㎡	35,000	14.7	99,600	防波堤工
18	千代崎港 港湾整備事業 (国補)	鈴鹿市原永	135,000	浚渫工V=2万6千㎡	0	37.0	47,200	浚渫工
19	千代崎海岸(山中地区海岸) 海岸侵食対策事業(国補)	鈴鹿市山中	2,765,000	L=1,150m	20,000	79.1	43,000	離岸堤工

※尚紙面の都合上、一部掲載していない箇所もございますのでご了承下さい。

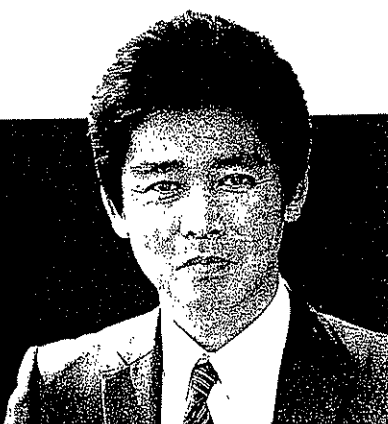
22800026

県政報告会並びに意見交換会のご案内

第3回目は「玉垣ふれあいセンター」で

6月19日19時から行います、是非ご参加下さい。

残り任期1年間は約2ヶ月に1回の割合で、これまでの、そしてこの1年間の県の動向等、皆様に報告を兼ね又ご意見いただければと思います、各地域で県政報告会を行わせていただこうと思います。



政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 21 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費	
使途用途	用途1 県政報告書作成、新聞折り込み		350000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	350000 × 95% =	332500 円
根拠			

22800027

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政報告書発送代		44215 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	44215 × 95% =	42004 円
根拠			

22800028

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政報告書発送代		44295 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	44295 × 95% =	42080 円
根拠			

22800029

広報費)②

(県政報告作成、新聞所収等 vol.11)

領 収 証

小林 正人

様 No. 17824

★

¥350,000-

但 県政リポート vol.11 制作代として

2010年 9 月 2 / 日 上記正に領収いたしました

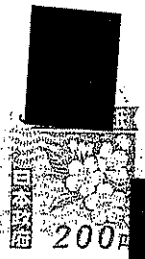
内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

有限会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市算所町1264-2
サンフラワービル3号 3A
TEL: 059-378-8500 FAX: 059-378-8509



(送代)

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2010年 9月30日 10:45

〔別納1〕
第一種定形

⑧80 300通 ¥24,000

小 計 ¥24,000

区内特別基(定)

⑧65 311通 ¥20,215

小 計 ¥20,215

課税計 ¥44,215
(内消費税等 ¥2,105)
非課税計 ¥0

△計 ¥44,215
お預り金額 ¥44,215

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 端01箱01
発行No.6377
連絡先: 鈴鹿箕田郵便局
TEL: 059-385-0871

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2010年 9月30日 10:13

〔別納1〕
区内特別基(定)

⑧65 311通 ¥20,215

小 計 ¥20,215

第一種定形

⑧80 301通 ¥24,080

小 計 ¥24,080

課税計 ¥44,295
(内消費税等 ¥2,109)
非課税計 ¥0

△計 ¥44,295
お預り金額 ¥50,000
おつり ¥5,705

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 端01箱01
発行No.0634
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL: 059-378-0801

22800030

三重県政リポート

vol.11



三重県議会議員
小林正人

と挨拶

戦後最高を記録した猛暑だった今夏も終わり、少し過ごしやすくなり季節となりました。この県政リポートもおかげで、その中で少しずつではありますが、リポートに関する評価、又、県に対しての皆様からのご意見、ご要望が増えてきていることが何よりの成果であったと思ひ大変感謝いたしております。

県議会の方も9月議会に入り、緊急雇用経済対策を中心に各所管において、例えば暴力団排除条例や農業振興に関する条例等全国にさきがけた重要施策や、他の議案審議等山積しております。このリポートが皆さんのところに届くころには終わっているかもしれませんが、9月29日午後1時から、私の4年間という議員活動の中で最後の一般質問もひかえております。質問がすべてではありませんが、昨年の11月から約2ヶ月おきに各地域で県政報告会へ意見交換をこれまで4回させていただきました時のご意見や、このリポートを見ていただいたご要望、又、地域を廻る中自分なりに調査し、鈴鹿市の抱える問題点等、時間という短い時間ではありますが、知事・県執行部に伝えてみようと努めております。

へお時間のある方は、後日でもインターネットで配信されておりますので是非ご覧いただければと思います。最後に来春には県議会議員としての任期も終わります。残す期間もこれまでも同様三重県・鈴鹿市発展の為に山積する問題解決に最善の努力をしまいにあります。改選後もそれらの問題に再度取り組めるよう全力を尽くす所存でございます。どうぞ今後ともご指導宜しくお願ひ致します。

県議会議員 小林正人

景気雇用・環境・観光集客・利便性そして、心のゆとりと市民の安心安全の確保の為に4年間市内の幹線道路整備に力を注ぎました。

県議会議員にさせていただきこの3年と半年、皆さんからいただきました諸問題に取り組みさせていただきましたが、中でも個人的に一番力を入れたのが幹線道路整備の問題であります。今更ながら何故道路?と疑問に思われるかも知れません。しかし、表題にもありますように道路は決して利便性の問題だけでなく、その費用対効果はいろいろな分野にまで波及します。鈴鹿市を2年前まで不交付団体にしたのも、時の優良企業が誘致され大きな雇用の場を生み製造品出荷額2兆円を越えたのも、年間約450万人という観光集客人数と、まさに鈴鹿市はこれまでの歴史の中で道路整備と共に経済成長を続けてきました。しかし、言うまでもなく昨今財政的な問題、或いは政治力かも知れませんが、市内の幹線道路はことごとくその従来の目的を果たす限界にきておりますことは周知の事実であります。こういう時代ですから、費用対効果があるからあれもこれもこれとも思っておりません。しかし、安心安全の確保のために災害時や緊急時に避難連絡道路としての機能が発揮できる最低限の整備は必要です。今市内にはいくつも計画段階、事業化まで、或いは一部着手といった道路が多数あります。最終的には全て全線供用開始となるのが理想ではありますが、おそらく無理であろうと思います。憶測ですが北勢バイパスは四日市との県境一号线でとまるでしょうし、又、必

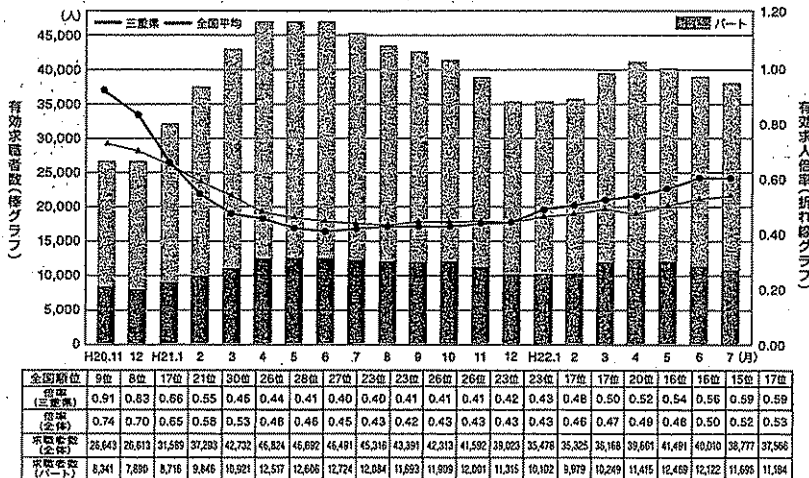
要だとは思いますが鈴鹿亀山道路は降り口の一部だけで、最低の工法を用いても1000億円かかるといわれております。実現性は?など等。まず、優先順位を再確認する必要があると思います。1番目は神戸長沢線、鈴鹿IC改修も含めて整備すべきです。なぜなら鈴鹿市は東西に長く、西の玄関口である鈴鹿ICもあり、市内に入る唯一の路線だからです。南北には比較的既存の道路や計画、事業着手されている路線も多数あります。次いで中勢バイパス、言うまでもなく国道23号線の現況、交通量を考えるとこちらもできるだけ早期に供用開始しなければなりません。3番目は国府地区を中心とした鈴鹿環状線、まだ一部平野バイパス、磯山バイパスができていだけで事業化もされておられません。しかしこの鈴鹿の外周を取り巻く、そして各地域や医療機関を結びつなぐ地域型、福祉型道路とよばれるこの路線が鈴鹿の安心安全を確保する、まさに住民から提案された本当に必要性のある道路だからです。以下欲を言えばきりがありませんので、財政状況をふまえて進めていけばいいのではと考えます。



三重県内の雇用・失業率最新状況

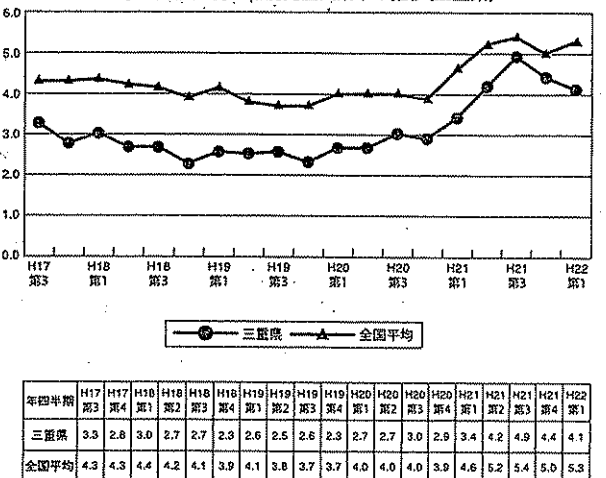
有効求人倍率と有効求職者数の推移について

有効求人倍率(季節調整値)・有効求職者数(原数値)



地域別完全失業率(モデル推計値)の推移

【四半期平均】地域別完全失業率の推移(三重県)



国政に
対して一言

扶養控除・配偶者控除をなくす(半額の子供手当の廃止)・大増税(住民税・国保等も含む)を国民に課す前に
先ず国会議員という自らの定数を半減すべきである!!

22800031

編集・発行 小林正人事務所

住所 〒513-0806 鈴鹿市所町1240

TEL&FAX 059-370-5333

Web http://www.masatohweb.in/

毎年三重県では各事業別に目標値を定め

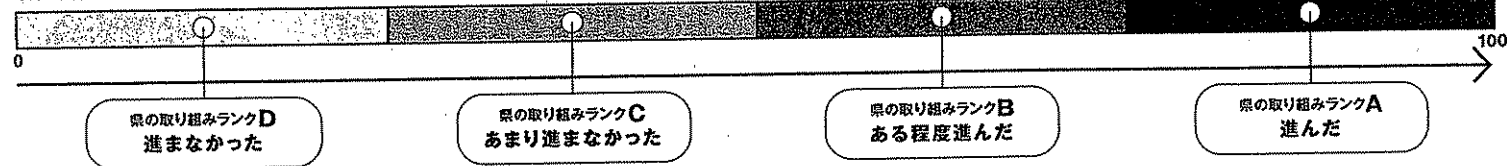
AからDまでの4段階で自己検証をしております。

その中で特に今回は2点ピックアップし

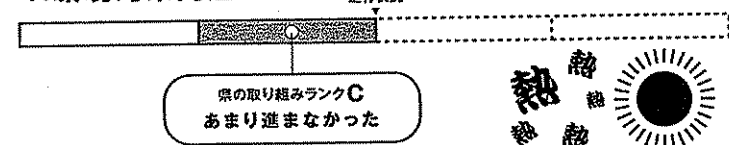
私個人の考えも含めて報告させていただきます。



取組進行メーター



1.環境対策問題

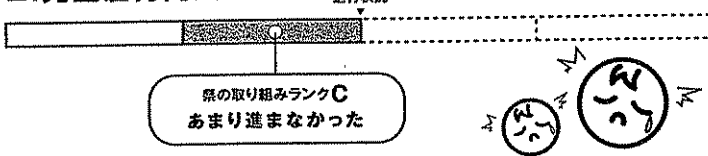


中でも特に地球温暖化対策の取り組みが遅れております。今年の夏はこれまでにない猛暑にみまわれ、気象庁の報告では今年8月の全国平均気温は戦後最高を記録したという発表もありました。この影響もあって全国各地で熱中症患者が続出し最悪は死亡にまでいたり、その数は全国で7月17日<梅雨明け宣言日>から8月30日まで、約500人となりました。又、県内においてもこの猛暑の影響で同時期に熱中症で救急搬送された方は約432人となり、内7名の方がお亡くなりになりました。地元鈴鹿市はどうかと調べたところ、同時期に69名の方が熱中症の疑いで搬送され、内2名の方が亡くなりました。このような事態をかんがみ、特に熱中症患者の多かった大阪府吹田市では市内4消防署が連携し各会議所をシェルターとして一般開放するなどし、又、栃木県や静岡県ではインターネットやリアルで注意を呼びかけるなどの対策がとられました。違う観点からは、ここ数年全国的に局地で集中して降る大雨、いわゆるゲリラ豪雨等の問題も多々おこっております。近々では今年9月上旬に東海、関東地方がその災害にみまわれ多数の被害が出ております。このように日本は年々平均気温が上がり、昨今国の方でも日本はいよいよ長期的温暖化傾向の時期に入ったとの報道もありました。温暖化にはいろいろな起因がありますが、2007年に発行されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)第4次評価報告書において、気候システムの温暖化には疑う余地がなく、20世紀半ばからの平均気温の上昇は人為的な温室効果ガスの増加によるものである可能性がかなり高いとの報告がなされました。又、ご存知のように2005年の2月16日には京都議定書が発効し、日本は2008年から2012年の第一約束期間に1990年基準年度比6%の温室効果ガスの削減が課せられ、各所において対策が進められております。本県においても、三重県地球温暖化対策推進計画に基づいて、例えば中小企業の温暖化対策促進の為に164の事業所に省エネ診断、提案を実施したり、家庭での温暖化の取り組みを促進する為、みえ まるごとエコ生活運動に取り組んだり、企業と地域が連携して行なう地域活動を推進する等、更には県民への環境対策支援ということで普及員を派遣したりといろいろな取組みをしております。

しかし結果とはいえず、三重県の温室効果ガスの総排出量は1990年基準年度に比べ17.5%増となっております。国においては2020年度までに温室効果ガス25%削減といわれておりますが、本当に可能だと思われるのか少々疑問にも思います。私個人としましてはもちろんそうなることがベストだとは思いますが、製造品出荷額10兆円、全国第9位の県内においては、大企業の海外流出やそれに伴い中小企業が破綻してしまうという危機も大いにあると思っております。環境対策と共に考えていかなければならないと思っております。

いずれにしても、これまでの取組みであまり効果がないのであれば更なる対策を講じていかなければいけません。県民、企業努力をしていただく為にも、順を踏んでもう少し現実的な目標値を定めて、例えばプラスα的な要素も含んだ取り組み方を導入するなど必要であると考えます。まず真っ先に取り組んでいくべき事は更なる県庁舎や関係機関、施設の電力消費の減やLED化、エコカーの導入等、又、初期投資は少しかかりますが新エネルギー対策等であろうかと思っております。

2.児童虐待問題



児童虐待においては身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト(養育の放棄)といった4つに分類されますが、ほとんどの虐待問題はこれらのうちの1つだけということではなく、4つのタイプの虐待が組み合わさったケースが多いと言われております。又、最近の傾向としてこれらの虐待を受けて育った親が、自分自身の子供に対して虐待にはいるケースや、自分自身に自信が持てない、対人恐怖症、人格障害といった社会に出てからも当時の悪影響が残るケースが非常に多く、メンタル的な病気にもつながり、社会から離脱し復帰できないこともよくあると聞きます。虐待の要因としては多々ありますがその中でも、育児に対するストレス、望まない出産や配偶者の子育てへの不協力が無理解、再婚者の連れ子に対する嫉妬や憎悪が上位に挙げられております。少し前のデータになりますが、厚生労働省の調べでは、児童相談所が対応した養護件数ですが2007年で約4万人強、中でも身体的虐待が1万6千人強と最も多く、次いでネグレクト(養育の放棄)ですが1万5千人強となっております。又翌年の2008年では前年度に比べ5%増え、更に2009年度の相談件数は4万4千人強と過去最悪を更新といった状態にあります。このように年々増加傾向にある児童虐待においては早急に解決していかなければならない社会問題であり、県もその事を認識して重点事業の1つとしてとらえ、子どもを虐待から守る条例の普及啓発や国の児童福祉法改正後、設置推進された要保護児童対策地域協議会の運営支援、児童養護施設等におけるケア単位の小規模化の促進や里親制度の活用促進等、児童虐待の未然防止や保護、自立に向けた支援等をおこなっております。

しかし、国や県がこのような取り組みをしているにも関わらず、昨今県内においても地元鈴鹿市で、又、近々では大阪市の問題など児童虐待が多々おこっております。私としてはこれらの事態をかんがみ、やはり必要な事は、制度上、形ということもさることながら、いかに虐待の情報を早く入手できるか?いわゆる近隣住民の方や学校関係者等、最も虐待児の身近にいる人が察知できるか、又、察知できてもちゃんと通報できるのか、どこへ言えばいいのかが把握されているか、ということが大事であると思っております。そして身体的虐待など見える部分があるものはいいですが、目に見えない、隠れた虐待をいかに防ぐのかということも非常に難しい問題であると思っております。又、先にふれました、通報の件数ですが例えばアメリカ等はこの虐待問題に対し通報を義務化、罰則規定まで定めてあります。特定の職種に就く方が児童虐待の兆しを発見したら関係機関に通報する。しなければ、州によって差はありますが1000ドル以下の罰金や6ヶ月以下の懲役に処されるなどであり、このように通報の義務や今年2月に一部反対の声もありましたが、親権制限制度<虐待児を守るため、一時的に親権を停止させる>といった制度ですが、あまり県民の皆さんに知られていない制度の普及啓発が虐待を未然に防ぐ、又早期に発見できる最善の策の1つではと考えます。

児童虐待は、一方的に抵抗できない弱者に対してその行為をおこなうものであり、たとえ親子であっても絶対にあってはならないことであると思っております。今後もこの問題に関しては、より一層私どもを入れて関係機関や県民全体で取組んでいかなければならない重要な社会問題の一つであると考え最善を尽くそうと思っております。

県政報告会並びに意見交換会のご案内

第5回目は「稲生公民館」で

11月13日19時から行います。是非ご参加下さい。

昨年11月から約2カ月に1回の割合で県政報告をさせていただいております。残り任期約半年間、県の動向等皆様に報告を兼ね、またご意見もいただければと思ひ、各地域で県政報告会を行わせていただこうと思ひます。

22800032



政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費	
使途用途	用途1 県政報告書作成、新聞折込		350000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	350000 × 95% =	332500 円
根拠	内容自体は県政に関する事しか掲載してないが写真が入っている為		

22800033

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 06 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政報告書発送代	47155 円	
	用途2 県政報告書発送代	51420 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	98575 × 95% =	93646 円
根拠	報告書と同内容から		

22800034

六報費)②

(県政報告書作成、新聞折込4-16/12)

領 収 証

小林 正人

様 No. 21011

★ ¥ 350,000-

但 県政リポート代として

2010 年 12 月 27 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

有限会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市算所町1264-2

サンフラワービル3号 3A

TEL: 059-378-8500 FAX: 059-378-8509



(発送代)

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2011年 1月 6日 13:40

[別納1]
第一種定形
⑧80 288通 ¥23,040
小 計 ¥23,040

区内特別基(定)
⑧65 371通 ¥24,115
小 計 ¥24,115

課税計 ¥47,155
(内消費税等 ¥2,245)
非課税計 ¥0

△計 ¥47,155
お預り金額 ¥50,000
おつり ¥2,845

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 [Redacted]
発行No. 3915 端01箱01
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL: 059-378-0801

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2011年 1月 6日 14:36

[別納1]
第一種定形
⑧80 399通 ¥31,920
小 計 ¥31,920

区内特別基(定)
⑧65 300通 ¥19,500
小 計 ¥19,500

課税計 ¥51,420
(内消費税等 ¥2,448)
非課税計 ¥0

△計 ¥51,420
お預り金額 ¥51,520
おつり ¥100

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 [Redacted]
発行No. 9369 端01箱01
連絡先: 鈴鹿箕田郵便局
TEL: 059-385-0871

22800035

三重県議会議員 小林正人 県政リポート

vol.12



新しい年を迎えて

平成23年、新しい年が始まりました。まず、皆様にかかれましては旧年中、私県議会に於いて、この県政リポートを通じていろいろなお意見・ご指導賜りましたこと心から感謝申し上げます。今思えば、この約4年間は激動の年でした。農業・食の安心安全の問題でこの三重県が一躍全国である意味有名になったことをきっかけに全国的にはアメリカ発、リーマンショック金融破綻による世界恐慌ともいえる不況が続く、或いは政権交代によるこの国のあり方自体が大きく変わらうと色々な政策が打ち出されました。その中でも、ことも手当てや高速道路無料化等を皮切りに近々では特に外交問題、尖閣諸島、北方領土、竹島等々が大きく波紋を広げ、また、TPP(自由貿易)に参加することにより、農業関係者には大きなダメージが予想、危惧されるところであります。ちなみに県内では生産額約500億の減、鈴鹿市においては約44億の減と試算されております。まさに負の連鎖であり国だけでなく、地方にも大きくその波が押し寄せております。また、若干株価の上昇はみられるものの、まだまだ輸出中心の製造業関係や建設土木業の多い我が県においては景気上昇という明るい兆しが見える状態には程遠いものがあります。また、福祉分野においても、生活保護の本来のあり方や障がい者の方々の雇用、将来においてのグループホームの整備、超高齢化の問題等地方で格差がかなり大きい問題に関しても、これから県、市町が中心となって考えていかなければいけません。このような問題を少しでも早期に解決できるよう、22年度まで取組んできた事を今年度も引き続き皆様にご指導いただきながら全力を尽くして参りたいと思っております。本年が皆様にとりまして、少しでも安心してゆとりを持って暮らしていただける良い年になりますことを心から祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

県議会議員 小林正人

緊急雇用経済対策予算

新卒者をはじめとする若年者の雇用をとりまく環境は厳しい状況にあり、

平成22年10月時点での県立高校卒業予定者就職内定率は72.9%、平成22年9月時点での県内有効求人倍率(季調値)は0.62倍となっております。

第十一次緊急雇用・経済対策		総額 8億7百万円
平成22年度12月補正予算(その2)		
厳しい経済情勢や先行き悪化懸念を踏まえ、引き続き厳しい状況がつづく新卒者等の就職について、さらなる就労支援と雇用創出の提供を行います。		
雇用につながる就労支援 2億1千6百万円	雇用創出基金事業 1億5百万円 159人	補正予算 3億2千2百万円
高校生の内定獲得につながることをねらった就活セミナー、介護職員の処遇改善などの就労支援に取り組みます。 ・高校生内定獲得緊急支援事業(教育委員会) ・介護職員処遇改善交付金事業(健康福祉部) ・緊急漁業就業促進事業(農水商工部)など	若年者にも配慮しつつ、切れ目ない雇用創出を行うため、年度内の新たな雇用を創出する追加対策を実施します。 ・産業人材育成事業(生活・文化部) ・観光関連緊急雇用創出事業(農水商工部) ・障がい者雇用モデル構築 緊急雇用創出事業(生活・文化部)など	
新たなチャンスづくりへの支援 8千2百万円	地域経済活性化への支援 2億1千万円	補正予算 2億9千4百万円
・試作品開発支援緊急経済対策事業(農水商工部) ・緊急経済対策設備投資促進補助金(農水商工部)など	・森林整備加速化・林業再生基金事業(環境森林部) ・ものづくり中小企業の市場化緊急支援事業(農水商工部) ・観光需要創出キャンペーン事業(農水商工部)など	
中小企業等の経営安定化への支援	公共事業等 101億9千6百万円	補正予算 11億8千9百万円
・中小企業金融対策事業(農水商工部) 年末から年度末における中小企業者の資金繰り支援(融資枠80億円)	一般公共事業 66億8千8百万円 ・農業農村事業 20億7千3百万円 ・道路事業 16億3千4百万円 ・林道事業 5億2千6百万円 ・治山事業 4億8千2百万円 国庫移管事業負担金 35億8百万円	・都市計画事業 4億7千4百万円 ・河川事業 3億8千6百万円 ・港湾漁港事業 3億5千2百万円 ・港湾事業 3億3千6百万円 など
生活への支援・働きやすい環境づくり 1億9千4百万円	地域活性化交付金(きめ細かな交付金)活用事業 13億1千8百万円	補正予算 4億3千4百万円
・障がい者自立支援緊急対策助成事業(健康福祉部) ・地域自衛対策緊急強化事業(健康福祉部) ・母子家庭自立支援給付金事業(健康福祉部)など	信号機、横断歩道など交通安全施設の整備や、総合文化センター、鈴鹿スポーツガーデンなど老朽施設の維持補修工事等を行います。 ・交通安全施設の整備 1億3千3百万円 ・公共施設、公用施設の維持補修 8億3千百万円 ・研究施設等における設備の老朽化対策 3億5千4百万円 ほか	
	予防接種対策事業 4億2千8百万円	
	市町が実施する子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種事業にかかる経費の一部について支援します。ほか	

参考 第一次~第十一次対策 総額693億4千9百万円

県政報告会の様子

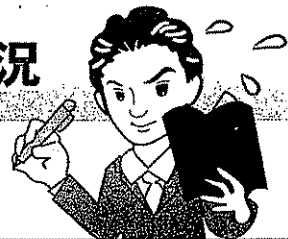
終始地域の皆様と県の施策について
また、地域の諸問題について、報告を兼ね意見交換!!

県政に対する貴重なご意見等たくさん頂きました。
今後は頂いた意見を少しでも反映できるよう努力してまいります。



所属委員会(教育・警察)のH23年度当初予算要求状況

新規事業及び重要事業一部掲載



教育委員会費

総額 170,535,362,000円

⑤ 学力の定着・向上支援事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 25,266,000円

児童生徒の国語・算数・数学及び理科の学力の向上をはかるため、学力向上アドバイザーを要請がある学校へ派遣し、教員への指導・助言を行うなど、国語・算数・数学及び理科の指導方法の工夫改善に係る実践的研究を支援します。

⑥ 明日のみえを創る高校生育成事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 24,409,000円

発展的な理数教育やコミュニケーション重視の英語教育の指導方法等の開発と実践を行うことにより、高校生の実践的な能力を高め、将来、地域の課題等の解決や発展に主体的に参画できる能力や態度の育成をはかります。

⑦ 就職指導スキルアップ事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 33,036,000円

キャリアカウンセリング、面接指導などのノウハウを有する外部事業者を活用し、教職員の就職指導スキルの向上をはかることにより、高校生一人ひとりが幅広い職業選択ができるよう進路選択に必要な情報や知識を習得させるための支援を行います。

⑧ 進路希望実現・就労自立支援事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 16,209,000円

自立した一人の県民として社会参画し、生徒一人ひとりの可能性を引き出した進路希望の実現、就労希望の生徒の就労への意欲・関心の向上をはかり、就労先開拓と適正な進路指導に取り組みます。

⑨ スクールカウンセラー等活用促進事業

当初予算額: (H22) 175,752,000円 → (H23) 212,416,000円

小・中学校及び高等学校に臨床心理士等を配置し、教育相談体制の充実をはかるとともに、学校において解決困難な問題に対しては、関係機関と連携してチームで支援するなど、多様化・複雑化している生徒指導上の課題解決に向けて取り組みます。

⑩ 子どもセーフティー・サポート推進事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 3,376,000円

児童生徒の登下校の安全をはかるため、中学校区単位で、地域の様々な主体が連携し、見守り活動を行うことのできる体制づくりに取り組みます。

⑪ 子どもたちの元気づくり推進事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 25,660,000円

子どもたちの運動の日常化をはかるため、運動機会を拡充するとともに、子どもたち一人ひとりの運動意欲を高め、体力の向上に取り組みます。

⑫ 生涯スポーツ推進事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 12,222,000円

広域スポーツセンターを中心として、各市町や総合型地域スポーツクラブに専門的な指導助言等を行うとともに、クラブの発展に必要な人材やスポーツ指導者を養成し、クラブの安定した運営と定着をはかります。

警察費

総額 39,780,675,000円

⑬ 非行少年を生まない社会づくり推進事業(緊急雇用) **新規事業**

当初予算額: (H23) 5,192,000円

少年の非行防止と健全育成をはかるため、少年非行防止等に関する広報啓発活動や非行少年の立ち寄り支援活動などを実施し、非行少年を見守る社会気運の醸成をはかります。

⑭ くらしと環境を守る交通安全施設整備事業

当初予算額: (H22) 144,442,000円 → (H23) 159,459,000円

少子高齢化社会が進展するなか、子どもや高齢者等の歩行者が安全・安心に通行でき、かつ車両が安全・円滑に走行できる交通環境を実現するために、信号機の整備に取り組みます。

⑮ 次世代支援のための安全な道路交通環境の整備事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 80,640,000円

子どもたちが毎日利用している通学路を中心に、横断歩道や一時停止などの道路標識、道路標示を整備し、安心して通学できる交通環境を確保します。

⑯ 犯罪の起きにくいまちづくりに向けた環境整備事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 25,668,000円

犯罪の起きにくいまちづくりを推進するため、防犯カメラの整備等により安全な公共空間を確保するとともに、非行少年等の居場所づくり等を通じ、地域社会の絆を深め、地域住民の規範意識の向上をはかります。

⑰ 青色回転灯犯罪抑止パトロール事業(緊急雇用) **新規事業**

当初予算額: (H23) 293,481,000円

県民の身近で発生する空き巣や部品ならいのほか、女性・子どもに対する声掛け、つきまとい事案等が多発する時間帯や地域において、重点的なパトロールなどを行い犯罪の抑止をはかります。

⑱ 暴力団排除条例広報啓発事業 **新規事業**

当初予算額: (H23) 3,000,000円

社会全体で暴力団排除を推進するため、暴力団排除条例の積極的な広報を行い、暴力団排除意識の向上をはかります。



【現在、検討されているTPPに参加した場合の本県農業への生産額が約500億円減少する可能性があります。

【**鈴鹿市においては約44億3千万の生産額が減少します。**】

生産減少額の品目別内訳について

品目	H20 農業産出額 (一部県外)	生産減少額	減少率	(参考)国の試算の考え方
米	371億円	362億円	98%	新潟産コシヒカリ、有機米等のこだわり米等を除いて置き換わる。
小麦	12億円	5億円	42%	国内産小麦100%をセールポイントとした小麦を除いて置き換わる。
大麦	0.4億円	0.3億円	75%	主食用(特麦)及び味噌用(緑麦)は残り、ビール用、焼酎用、麦茶用等は置き換わる。
茶	82億円	9億円	11%	1番茶、2番茶は残り、3番茶、4番茶及び秋冬番茶は置き換わる。
畜産	330億円	113億円	34%	
牛肉	59億円	6億円	10%	4等級及び5等級は残り、3等級以下は置き換わる。
豚肉	67億円	45億円	67%	銘柄豚は残り、その他は置き換わる。
鶏肉	20億円	4億円	20%	業務、加工用の1/2が置き換わる。
鶏卵	132億円	23億円	17%	業務、加工用のうち非当用と加工用の1/2が置き換わる。
牛乳・乳製品	51億円	35億円	69%	乳製品では、鮮度が重視される生クリーム等を除いて置き換わる。 飲用乳では、業務用牛乳等を中心に2割が置き換わる。
9品目の合計		489億円		

22800037

トピックス

TOPICS

ところで皆さんは

「三重県動物愛護管理推進計画」

というものをご存知ですか？

内容はこうです！<(簡略)動物愛護センターの機能強化、また、動物愛護精神の高揚に向けた広報・啓発に取組み、人と動物との関わりについて学ぶ機会を充実し共生社会の実現を目指します。>とあります。しかし、現実はどうか？と言いますと、悲惨な動物実験や保健所等に捕獲されたり、飼い主から持ち込まれたネコ等の殺処分が頻繁におこなわれていると聞きます。また、反面このような犠牲になる動物達を少しでも減らそうと、例えば自らの実費で飼い主のいない猫に避妊手術を受けさせたり、捨てられた動物達を保護し、里親探しをしていただいている方々も多々おられます。私は生命とは平等だと考えます。共生社会を目指す上で、愛護活動の啓発増進、避妊手術にかかる費用の補助、苦しみを伴うと言われる現在の殺処分方法を改める等、県、市町は考え取組んでいくべきであると思います。県内では松阪市が積極的に取り組んでいるようです。>

事務所費

22800038

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 04 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料4月分				53000 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800039

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料5月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800040

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 01 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料6月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800041

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料7月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800042

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料8月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800043

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 賃借料9月分		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

22800044

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 10 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料10月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800045

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 11 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 賃借料11月分	53000 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

22800046

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 賃借料12月分		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 賃借料1月分		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

22800048

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料2月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800049

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 賃借料3月分	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

使用証明書

物件名・号室	コーポスズキ店舗 3号室
所在地	三重県鈴鹿市算所町新開1240番地
賃貸人	
賃借人	自由民主党鈴鹿第二支部
賃料	50,000円
共益費	実費
駐車場	2台分賃料込
追加駐車場	3,000円(1台)

上記賃貸借契約の使用者は小林 正人である事を証明する。

22 年 4 月 16 日
管理会社

〒510-0212 三重県鈴鹿市本町12番30号
株式会社 松一ネット
TEL059-368-0800 FAX059-368-1441



22800051

家賃受領証明書

小林 正人様

物件名 号室	コーポ鈴木店舗 3 号室
所在地	三重県 鈴鹿市算所町新開1240
貸主	

受領月	受領家賃
平成22年4月	53,000
平成22年5月	53,000
平成22年6月	53,000
平成22年7月	53,000
平成22年8月	53,000
平成22年9月	53,000
平成22年10月	53,000
平成22年11月	53,000
平成22年12月	53,000
平成23年1月	53,000
平成23年2月	53,000
平成23年3月	53,000
合計	¥636,000

22800052

(事務所費) 賃借料、

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 04 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				6142 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6142	×	50%	= 3071 円
根拠	全般で按分				

22800053

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				6468 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6468	×	50%	= 3234 円
根拠	全般で按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 01 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				5465 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	5465	×	50%	= 2732 円
根拠	全般で按分				

22800055

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				6402 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6402	×	50%	= 3201 円
根拠	全般で按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費		支出科目 管理運営費		
使途用途	用途1	電気料金			6053 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6053	×	50%	= 3026 円
根拠	全般で按分				

22800057

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 28 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費	
使途用途	用途1 電気料金		5908 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	5908 × 50% =	2954 円
根拠	全般で按分		

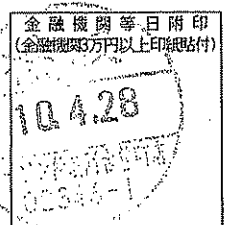
22800058

電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 4月分	金額
	6,142 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
3月 9日~ 4月 8日	291円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 4月30日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は 5月31日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の窓口をお願いいたします。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。

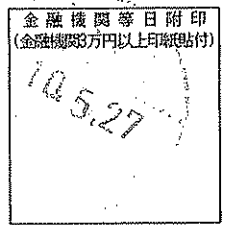


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 5月分	金額
	6,468 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
4月 9日~ 5月11日	308円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 6月 1日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は 7月 1日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。

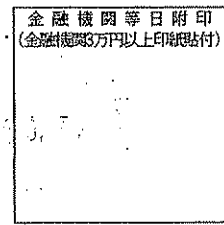


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 6月分	金額
	5,465 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
5月12日~ 6月 8日	260円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 6月29日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は 7月29日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。

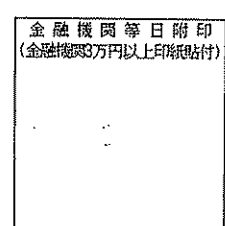


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 7月分	金額
	6,402 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
6月 9日~ 7月 8日	304円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 7月29日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は 8月30日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。



電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 8月分	金額
	6,053 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
7月 9日~ 8月 9日	287円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 8月30日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は 9月29日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。

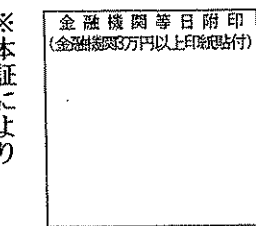


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成22年 9月分	金額
	5,908 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)
8月10日~ 9月 8日	281円
払込人氏名	
小林 正人 様	
お客さま番号	日程
3426348051630	08
お支払いが 9月29日を過ぎますと遅収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は10月29日までが有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金することは
ありません。



政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 10 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				6935 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6935	×	50%	= 3467 円
根拠	全般で按分				

22800060

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 11 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				9159 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	9159	×	50%	= 4579 円
根拠	全般で按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金	9606 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	9606	×	50%	= 4803 円
根拠	全般で按分				

22800062

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1	1月分電気料金			10289 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	10289	×	50%	= 5144 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 03 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金2月分	6931 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	6931	×	50%	= 3465 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800064

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				7056 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	7056	×	50%	= 3528 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800065

電気料金等払込受領証(領収証)

平成22年10月分	金額 6,935 円
ご使用期間 9月 9日~10月11日	消費税等相当額(再掲) 330円
払込人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
お支払いが11月 1日を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は12月 1日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

※本証により
集金すること
ありません。



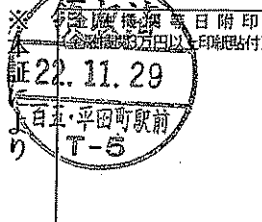
電気料金等払込受領証(領収証)

平成22年11月分	金額 9,159 円
ご使用期間 10月12日~11月 9日	消費税等相当額(再掲) 436円
払込人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
お支払いが11月30日を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は12月30日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

※本証により
集金すること
ありません。



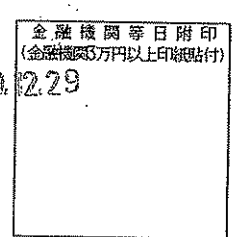
電気料金等払込受領証(領収証)

平成22年12月分	金額 9,606 円
ご使用期間 11月10日~12月 8日	消費税等相当額(再掲) 457円
払込人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
お支払いが12月29日を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は1月28日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

※本証により
集金すること
ありません。

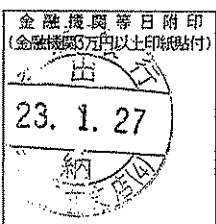


電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 1月分	金額 10,289 円
ご使用期間 2月 9日~ 1月12日	消費税等相当額(再掲) 489円
払込人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
お支払いが2月 2日を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は3月 4日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金すること
ありません。



振替払込請求書兼受領証(振込金受領証) (230228)

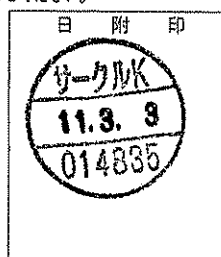
口座番号 00100-5-900116	加入者 中部電力株式会社
平成23年 2月分	金額 6,931 円
ご使用期間 1月 13日 ~ 2月 8日	消費税等相当額合計(再掲) 330 円
ご依頼人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
上記金額の内訳 6,931 円	

＜早収料金・お支払い期限日について＞
・お支払いが 3月 1日 を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。
・お支払い期限日は 3月 31日 でございます。払込用紙の有効期限も同日となっております。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 鈴鹿 営業所

0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

(ゆうちょ銀行)



電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 3月分	金額 7,056 円
ご使用期間 2月 9日~ 3月 8日	消費税等相当額(再掲) 335円
払込人氏名 小林 正人 様	
お客さま番号 342,6348,05,16,3,0	日程 08
お支払いが3月29日を過ぎますと遅収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。	
この振込用紙は4月28日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。	

中部電力株式会社 鈴鹿営業所
0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

※本証により
集金すること
ありません。



事 務 費

22800067

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 04 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費		支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1	電話料金			20056 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	20056	×	50%	= 10028 円
根拠	全般的に按分				

22800068

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金				11124 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	11124	×	50%	= 5562 円
根拠	全般で按分				

22800069

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 01 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金				17583 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	17583	×	50%	= 8791 円
根拠	全般で按分				

22800070

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金	20097 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	20097	×	50%	= 10048 円
根拠	全般で按分				

22800071

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金				17885 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	17885	×	50%	= 8942 円
根拠	全般で按分				

22800072

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 28 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			12648 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	12648	× 50%	= 6324 円
根拠	全般で按分			

22800073

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 10 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			9766 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	9766	× 50% =	4883 円
根拠	全般で按分			

22800074

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 11 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費		支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1	電話料金			23960 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	23960	×	50%	= 11980 円
根拠	全般で按分				

22800075

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 29 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金				31342 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	31342	×	50%	= 15671 円
根拠	全般で按分				

22800076

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 27 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1	1月分電話料金		39554 円	
	用途2			0 円	
	用途3			0 円	
	用途4			0 円	
	用途5			0 円	
支出金額	使途用途合計	39554	×	50%	= 19777 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800077

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 02 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1	電話料金2月分		24171	円
	用途2			0	円
	用途3			0	円
	用途4			0	円
	用途5			0	円
支出金額	使途用途合計	24171	×	50%	= 12085 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金				34056 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	34056	×	50%	= 17028 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800079

事務費)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
7015395112361
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 4 月分
¥20,056
うち、消費税等当額
952円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,428
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
8045095313373
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 5 月分
¥11,124
うち、消費税等当額
528円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
9065995514387
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 6 月分
¥17,583
うち、消費税等当額
835円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
1095995715403
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 7 月分
¥20,097
うち、消費税等当額
953円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
3025895916421
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 8 月分
¥17,885
うち、消費税等当額
849円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
8045496117441
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 9 月分
¥12,648
うち、消費税等当額
600円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
9075394509373
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 10 月分
¥9,766
うち、消費税等当額
459円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,10,29
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
2005394710388
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 11 月分
¥23,960
うち、消費税等当額
1,138円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
3035294911405
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 22 年 12 月分
¥31,342
うち、消費税等当額
1,484円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,10,29
領収日付印
(お客様)

領収証(Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
4065094710838
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 23 年 1 月分
¥39,554
うち、消費税等当額
1,878円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,10,29
領収日付印
(お客様)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
5085694911945
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 23 年 2 月分
¥24,171
うち、消費税等当額
1,148円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

金額
平成 23 年 3 月分
¥34,056
うち、消費税等当額
1,614円

西日本電信電話株式会社

三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

収入印紙貼付欄
10,311
領収日付印
(お客様)

人 件 費

雇 用 契 約 書

氏 名		生年月日	
現住所			
電話番号		緊急時の連絡先	

下記条件にて契約と致します。

雇 用 期 間	平成22 年 4 月 / 日 から 平成23年 3 月 3 / 日
就 業 場 所	三重県鈴鹿市算所町1240 小林正人事務所
職 務 内 容	事務全般、議員政務調査等に必要補助の業務。
就 業 時 間	1日5H / (1週4日) 9:00~14:00 (月、火、木、金)
休 日	毎週水曜日、土曜日、日曜日
給 与 (賃金)	月 給 67,000 円 (時 給 円) (実給金)
給 与 支 払	日締切 月末 日支払
給与払込先	普通預金 銀行 支店 (口座番号) (名義)
上記契約期間満了をもって本契約を解消する。	

※契約書は2通作成し、双方が各1通を保管する。

平成22年 4 月 / 日

雇用者

氏名 小林 正人



被雇用者

氏名



政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 04 月 28 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事も兼務している為		

22800083

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 05 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為		

22800084

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 01 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費			
使途用途	用途1 事務員	67000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	67000	×	50%	= 33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為				

22800085

人件費)①

領 収 証 小林正人事務所 様

No. _____

金 額

467000

但アルバイト代

内 訳

現 金

平成22年 4月 28日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様

No. _____

金 額

467000

但アルバイト代

内 訳

現 金

平成22年 5月 27日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様

No. _____

金 額

467000

但アルバイト代

内 訳

現 金

平成22年 7月 1日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

収入印紙

22800086

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 07 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為		

22800087

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 08 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

22800088

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 09 月 30 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員			67000 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	67000	×	50% = 33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為			

22800089

人件費)②

領 収 証 小林 正人事務所 様 No. _____

金 額

¥ 6 7 0 0 0

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

但 アルバイト代

平成22年 7 月 30 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林 正人事務所 様 No. _____

金 額

¥ 6 7 0 0 0

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

但 アルバイト代

平成22年 8 月 31 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林 正人事務所 様 No. _____

金 額

¥ 6 7 0 0 0

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

但 アルバイト代

平成22年 9 月 30 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

22800090

領収証 No.7

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 10 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為		

22800091

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 11 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為		

政務調査費入力

個人分

日付	平成 22 年 12 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部の仕事を兼務している為		

22800093

(件費)③

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額

			4	6	7	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---	---

内 訳 但 アルバイト代

現 金 平成22年 10月 29日 上記正に領収いたしました

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額

			4	6	7	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---	---

内 訳 但 アルバイト代

現 金 平成22年 11月 29日 上記正に領収いたしました

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額

			4	6	7	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---	---

内 訳 但 アルバイト代

現 金 平成22年 12月 29日 上記正に領収いたしました

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

収入印紙

22800094

領収証 No.7

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 01 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

22800095

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費			
使途用途	用途1 事務員	67000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	67000	×	50%	= 33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

22800096

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 03 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員			67000 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

22800097

(件費) ④

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 プライベート代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等 (%)	

平成23年 1月 27日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 プライベート代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等 (%)	

平成23年 2月 28日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 プライベート代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等 (%)	

平成23年 3月 31日 上記正に領収いたしました

収入印紙

22800098

領収証 No.7